

令和6年度
社会福祉法人みどり会
事業計画

法人事務局

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援すること及び心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

・第一種社会福祉事業

事業名	施設・事業所名	定員
特別養護老人ホーム事業	府中みどり園	29名

・第二種社会福祉事業

事業名	施設・事業所名	定員
老人デイサービス事業	府中みどり園	30名
老人ショートステイ事業		10名
老人グループホーム事業		18名
小規模多機能ホーム事業		29名
居宅介護支援事業		122名
幼保連携型認定こども園 ※一時預かり	みどりの森ゆめのはこども園	130名 ※
	みどりの森みらいこども園	110名 ※
	みどりの森ようこうこども園	105名 ※
保育所 ※一時預かり	みどりの森おひさま保育園	60名 ※
児童発達支援事業	賀茂みどりの樹	5名
放課後等デイサービス事業		5名
就労移行支援事業	RING	8名
就労継続支援B型事業		12名
就労定着支援事業		-

経営の原則【定款第3条】

社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

職員数

	令和6年4月	採用	退職	令和7年3月
常勤	164			
非常勤	59			

令和6年度 法人を取り巻く状況と事業計画

「みどり会は、平成22年（2010年）7月の設立以来、府中みどり園をはじめとし介護部2施設、保育部4施設、障害福祉部2施設の計8施設の社会福祉事業を展開している。

令和5年度から、保育部の「みどりの森保育園」「みどりの森みらい保育園」「みどりの森ようこう保育園」の3園は、それぞれ「みどりの森ゆめのはことも園」「みどりの森みらいこども園」「みどりの森ようこうこども園」と、「こども園」として運営スタートしました。

新型コロナウイルス感染症も、昨年5月から感染症法上の取扱いが2類から5類への変更となり、中止や縮小してきた各種行事等も再開し、利用者の皆様にも喜んで頂けたのではないかと感じている。特に府中みどり園のみどり園祭りでは、地域から約500名のたくさんの方に来園頂き、大きく盛り上がった。しかし、その後の年末あたりから再度コロナ感染者が発生し、第10波と言われるほど感染者が増加し、施設においても職員、利用者の感染により対応、対策に迫られる状況にもなった。

物価高騰、最低賃金のアップ等からも、厳しい状況が続いてるが、令和6年度は3年に1度の酬改訂の年であり、介護報酬1.59%、障害福祉サービス等報酬1.12%と過去10年間で最も高いアップ率での改訂となった。とはいえ、昨年10月の最低賃金は4.3%のアップであり、経営面においては厳しい状況が続いている。

高齢介護に関しては、団塊の世代が75歳以上となる2025年問題を間近に控えている。そして保育部に関しては、1973年の出生数209万人をピークに2023年は75万人と8年連続の減少が続いている。また、障害福祉においても、障害者数も増加傾向にあり、児童発達支援や就労支援等、障害者支援がより必要とされることが考えられるなど、様々な社会における課題に対応していくことが必要である。

みどり会として、それぞれの事業において競争激化していく中、利用者の皆さまから選ばれるための手段を講じ、利用者の確保、獲得を確実にしていくこと。そして、法人内部の体制について、組織としてそれぞれの役割、責任と権限、各種規程の整理や見直し、バックオフィス業務のデジタル化、IT化等による手続きの適正化並びに効率化を図っていくなど、既に進めていることもあるが、「持続可能な経営」を目指し、更に次の事項を重点施策として取り組んでいく。

事業課題と方針 評価：○達成・△一部達成・×未達成

年間計画	取組内容	評価
経営健全化に向けて方針を検討し実施する		
利用者主体の良質なサービスを提供し、選ばれる施設づくりに努める		
人材の確保・定着・育成のための取り組みを継続し、働きやすい職場環境の提供と職員への待遇改善に向けた取り組みを行う		
法人が一体化した運営となるべく本部機能の整理、集中化、分散化への取り組みをさらに進める		
地域福祉に関わり、社会貢献事業の取り組みを積極的に行う		
デジタル化、IT化、ICT化を推進し、コスト削減・トラブル防止など利便性の向上に繋げていく		
D&Iの推進とSDGsを意識した取り組みを推進する		
規程の見直しを行い、現状や実態にあわせていく		
BCPの運用開始		

数値目標 評価：○達成・△一部達成・×未達成

・事業活動収支差額率

年間計画	結果	評価
9.1%		

・法人全体

単位：千円

年間計画		結果		評価
事業活動収支	1,228,632	事業活動収支		
事業活動支出	1,116,685	事業活動支出		
事業活動収支差額	111,947	事業活動収支差額		

・高齢介護部

単位：千円

年間計画		結果		評価
事業活動収支	483,609	事業活動収支		

事業活動支出	464,559	事業活動支出		
事業活動収支差額	19,049	事業活動収支差額		

・ 保育部

単位：千円

年間計画		結果		評価
事業活動収支	655,076	事業活動収支		
事業活動支出	575,172	事業活動支出		
事業活動収支差額	79,904	事業活動収支差額		

・ 障害福祉部

単位：千円

年間計画		結果		評価
事業活動収支	89,945	事業活動収支		
事業活動支出	76,953	事業活動支出		
事業活動収支差額	12,992	事業活動収支差額		

借入金の状況

・ 福祉医療機構からの借り入れ状況(令和6年4月1日現在)

単位：千円

借入目的	借入年度	借入金額	令和5年度償還状況		借入残高
設置・設備資金 (府中)	2011年度	266,100	14,640	406	104,920
設置・設備資金 (みらい)	2014年度	146,000	8,064	364	86,688
設置・設備資金 (ようこう)	2015年度	154,000	8,508	421	100,678
設置・設備資金 (おひさま)	2019年度	68,000	5,196	123	57,156
運転資金(府中)	2020年度	40,000	0	20	40,000

・ 広島銀行 からの借り入れ状況(令和6年4月1日現在)

単位：千円

借入目的	借入年度	借入金額	令和5年度償還状況		借入残高
設置・設備資金	2014年度	30,000	2,172	390	12,624
設置・設備資金	2014年度	11,000	780	165	5,540
設置・設備資金	2020年度	25,000	1,668	262	18,606
設置・設備資金	2021年度	120,000	7,860	1,786	100,175

(府中小規模)					

・借入金の償還財源の状況

単位：千円

区分	金額	内訳
元利償還金【令和5年度】	52,826	元金 48,888 利息 3,938
財源		
自己資金	52,826	
補助金	0	
令和6年度償還予定額		元金 48,888 利息 3,938